

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等図画工作科指導法			17737	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
初田 隆	選択	2	公立中学校教員・国立大学付属小学校教員			

授業の到達目標

小学校学習指導要領にある図画工作科の低・中・高学年それぞれの目標を理解し、教材研究や模擬授業等をおして指導上必要な知識と技術を習得し、授業実践できる力を身に付けることが到達目標である。このクラスではKAISEIパーソナリティーのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

講義やディスカッション、模擬授業、教材研究をおして図画工作科の指導内容や指導方法、評価等について学ぶ。

授業計画

- 1 図画工作科の目標等と役割
- 2 図画工作科の年間計画、授業設計、指導案を考える。
- 3 児童画における造形発達と心理投影
- 4 教科内及び他教科との横断的学習の可能性
- 5 図画工作科としての言語活動と評価
- 6 絵画の表現形式
- 7 絵画表現に関する教材研究－感覚横断的な学習を手がかりに
- 8 版画の表現技法と版を用いた教材
- 9 モダンテクニックを用いた教材の可能性
- 10 様々な材料、用具を使った立体・工作の表現
- 11 立体・工作に関する用具の安全な使用方法
- 12 造形遊びに関する用具や材料の使用法と場所の活用方法
- 13 身近な作品や展示物、美術館を活用した効果的な鑑賞指導と授業設計
- 14 図画工作科の意義と現代的課題
- 15 まとめと定期テスト

授業の方法

講義と作品制作（教材研究）

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70％定期試験30％の割合で評価する。評価の観点は知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢等である。

欠席について

欠席1回について3点減点、遅刻1回について1点減点

テキスト

日本文教出版『図画工作3・4上』『図画工作3・4下』

参考図書

文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等家庭科指導法			17741	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅井 由美	選択	2				

授業の到達目標

小学校における家庭科教育に必要な実践的指導力を身に付ける。学習指導要領に示された小学校家庭科の目標と内容、その指導上の留意点を理解する。小学校家庭科とその背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。小学校家庭科の学習指導の理論と方法を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。このクラスではKAISEIパーソナリティーのI（知性）を養う。

授業の概要

小学校家庭科の目標と内容、家庭科教育のために必要な学習指導の理論と方法、教材研究などを学ぶ。さらに、子どもの発達段階や生活実態を踏まえた、また情報機器及び教材を活用した授業設計と学習指導案の作成を学び、模擬授業を行う。

授業計画

- 1 小学校家庭科の目標と内容
- 2 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」に関する指導上の留意点
- 3 「消費生活・環境」に関する指導上の留意点
- 4 小学校家庭科の評価
- 5 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」に関する教材研究
- 6 「消費生活・環境」に関する教材研究
- 7 子どもの発達・生活と家庭科教育
- 8 小学校家庭科の施設・設備（情報機器含む）
- 9 小学校家庭科の学習指導の理論と方法
- 10 小学校家庭科の学習指導計画
- 11 小学校家庭科の学習指導案の作成
- 12 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」の模擬授業
- 13 「消費生活・環境」の模擬授業
- 14 模擬授業の検討・改善
- 15 まとめ

授業の方法

講義に加えて、ディスカッションと模擬授業をとりいれる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。平常点30％、定期試験70％

欠席について

欠席1回につき3点減点する。

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 家庭編』東洋館出版

参考図書

必要に応じて授業中に指示する。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲し板を確認のこと。